

# 新文化

出版界唯一の専門紙

株式会社 新文化通信社  
郵便番号 170-0005  
東京都品川区南大塚2-39-7 4F  
電話 03-3942-5561  
FAX 編集部03-3942-5568  
販売部東京03-3942-5561  
発行人 丸島 基和  
本紙購読料  
半年17,600円(税込)  
1年32,800円(税込)  
(毎週木曜日発行)  
Shinbunka online  
www.shinbunka.co.jp/

書籍・雑誌・CD/DVD  
株式会社 中央社  
本社 東京都千代田区西千代1-1-1  
東京支店 東京都千代田区西千代1-1-1  
大阪支店 大阪府大阪市東区東1-1-1

# 書店にPOSが必要な理由



光和コンピュータ社長 寺川光男氏に聞く

出版界のPOSに基幹システムを提供し、1000書店のPOSデータを管理する光和コンピュータ。取次・倉庫会社のシステム構築も手がけている。これまで自動発注システム、「ななつ」などで潜在的な出版界を生み出した。マーケットイン型流通への転換を迫っている。ERPシステムとAI接続が果たす役割を語る寺川光男社長に現状を聞いた。

「30年前に設立して以来、出版界に特化してシステム提供してきてきた。ERPは、倉庫・取次・書店のシステムを構築して、出版界の効率化を図ってきた。ERPは、倉庫・取次・書店のシステムを構築して、出版界の効率化を図ってきた。ERPは、倉庫・取次・書店のシステムを構築して、出版界の効率化を図ってきた。」

30年間の流れ  
「私は以前、専ら業務のシステムエンジニアとして従事していましたが、委託・再制度運用する出版界は、とても異なる感覚で、非効率な部分が多すぎるのを感じていました。」  
設立初は雑誌データベースなど、統一的な業務のインフラもありましたが、業界の方々と同じ思いでした。2002年4月日本出版インフラセンター(PI)が立ち上がり、業界のインフラを一元化して、店頭でPOSが

## 「Books PRO」サポートツール「K-PRO」を促進

「Books PRO」は、ERPのサポートツールとして、出版界の効率化を図ってきた。ERPは、倉庫・取次・書店のシステムを構築して、出版界の効率化を図ってきた。ERPは、倉庫・取次・書店のシステムを構築して、出版界の効率化を図ってきた。」

「AI技術を用いた発注システム必須」  
「AI技術を用いた発注システム必須」  
「AI技術を用いた発注システム必須」

「自店の特性を知り自主的注文増える」  
「マーケットイン型流通」具現化へ  
「AI技術を用いた発注システム必須」

「マル手決済端末「PAYGATE」書店再生支援財団で補助」  
「マル手決済端末「PAYGATE」書店再生支援財団で補助」

「市中在庫情報を出版社と共有」  
「市中在庫情報を出版社と共有」

「たなづくり」システム成功事例  
「たなづくり」システム成功事例

「AI技術を用いた発注システム必須」  
「AI技術を用いた発注システム必須」

の書評やプロモーション情報、各種データ連携が得意。当社の出版ERPシステムとの連携も実現し、出版界の効率化を図ってきた。ERPは、倉庫・取次・書店のシステムを構築して、出版界の効率化を図ってきた。ERPは、倉庫・取次・書店のシステムを構築して、出版界の効率化を図ってきた。」

「マル手決済端末「PAYGATE」書店再生支援財団で補助」  
「マル手決済端末「PAYGATE」書店再生支援財団で補助」

「市中在庫情報を出版社と共有」  
「市中在庫情報を出版社と共有」

「たなづくり」システム成功事例  
「たなづくり」システム成功事例

「AI技術を用いた発注システム必須」  
「AI技術を用いた発注システム必須」

「AI技術を用いた発注システム必須」  
「AI技術を用いた発注システム必須」

「市中在庫情報を出版社と共有」  
「市中在庫情報を出版社と共有」

「たなづくり」システム成功事例  
「たなづくり」システム成功事例

「AI技術を用いた発注システム必須」  
「AI技術を用いた発注システム必須」